

走行チェックシート

日付	2012年5月13日 (日)		時間	~	イベント	2012MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦		
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000L2	ライダー	今野由寛		
コース	名称	筑波サーキット			気温	24	°C	
	コンディション	DRY			気圧	1017	hpa	
	路面温度	43	(計測時間)		湿度	21	%	
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10		エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ10W-40			
	ファイナルレシオ	15 x 46(3.066)						
トランスミッション	1st	A(36/17)	2.12	4th	B(31/21)	1.48		
	2nd	A(37/20)	18.5	5th	C(30/22)	1.36		
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	C(32/25)	1.28		
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-12			
	スプリング	10.00	N/m	OIL	SR6 #5			
	自由長	-	mm	油面	190	mm		
	イニシャル	13	mm	残ストローク	mm			
	COMP	-13		突き出し	STDトップブリッジで0mm突き出し mm			
リア	パーツ名	SHOWA(340mm)		TEN	-12			
	スプリング	97.0	N/m	残ストローク	mm			
	自由長	mm		リンク	SPL			
	イニシャル	12	mm	リンクロッド	- mm			
	COMP(HI)	+1		車高	STD+25mm ピボット-2mm スイング長602.5mm mm			
	COMP(LO)	-15						
タイヤ	フロント			リア				
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ			
	サイズ	125/80/R420		サイズ	210/60R420			
	エア圧	2.1		エア圧	1.3			
チェック	順位	6位		ベストラップ	57" 263(ウォームアップ)			
	水温	°C		油温	°C			
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km		
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ		

<コメント>
 皆様お待たせしました。
 筑波ラウンドが始まりました。
 全日本選手権JSBクラスはこれが前半戦最後のレースです。これが終わると8耐に向けてテストの日々が始まります。
 何とか結果を残して勢いをつけて8耐に向かって行きたいものです。
 さて鈴鹿が終わりマシンの仕様は、リヤバネレートを下げて事前テストへ。
 一日目は57秒くらい。二日目は大きく振って突き戻し、車高を上げてシーズンオフテストの状態に近いところで走りました。
 運動性能がでましたがリヤの中途半端なストロークのところでは動きが出てしまいます。
 レートを上げていけば解決する方向です。
 筑波のようなコーナーのRが小さいコースでは、ホイールベースの長さも旋回性に影響します。
 なので、レーウィーク初日はチェーンリンクを1リンク詰めてスタート。
 旋回性は出ましたが進入でリヤにトラクションが掛けにくいので、元に戻すことに。
 さて予選です。残念ながら目標のタイムには届かず8番手グリッド。
 前日のミーティングでピボット位置を下げて朝フリーに臨むことにしましたが、決勝に向けてリヤバネレートの選択をしなければなりません。
 セッション中にワンランク硬いバネレートに変更し、コメントを聞いて決勝の仕様を決めます。
 結局、ピボットは2mm下げてバネレートは硬いほうで決勝を戦うことに。
 決勝レースがスタート！！しかし気合が入りすぎたのかフロントが浮いてしまい、出遅れました。
 狭い筑波ですが、それほど順位を落とすことなく9位で一周目を通過。
 上位グループの転倒もありましたが、30周を無事走りきり6位でチェッカーを受けました。
 次は鈴鹿8耐です。より良い結果報告が出来ればと思っています。
 応援していただいた皆様有難うございました。

レーシングサプライ
 畑中 健太郎